

瑞江小学校 校内研究について

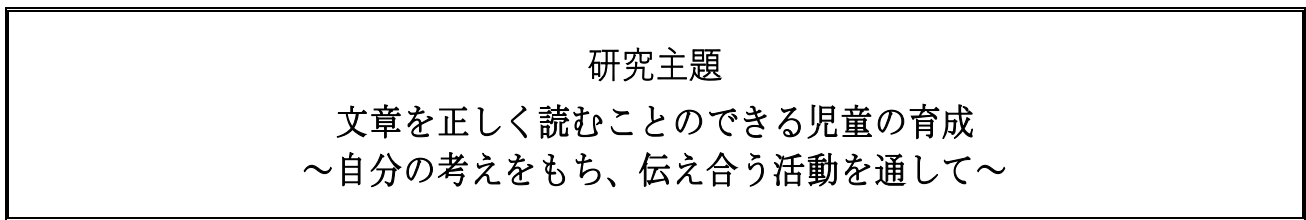
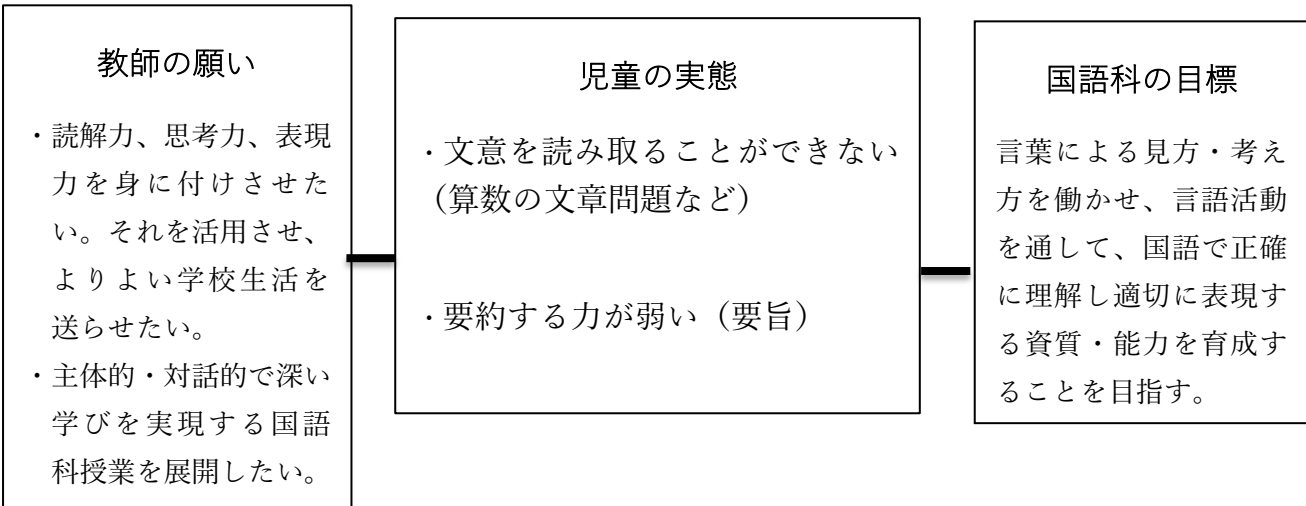
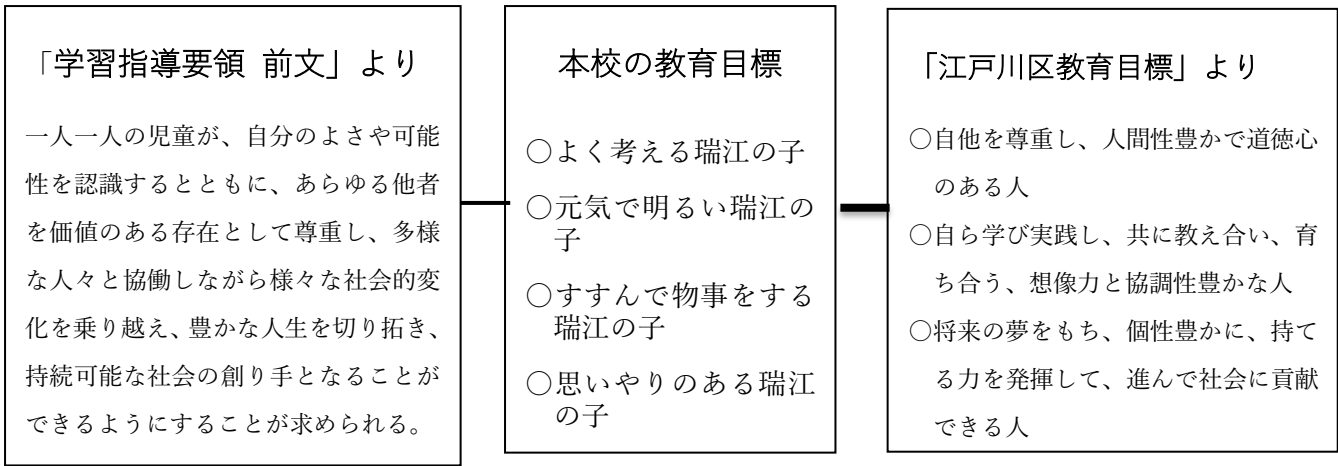
令和5年度の研究主題は、以下にある令和4年度の内容を踏まえて決定した。国語科という教科の中の「伝え合い」を中心として、子供たちにとって楽しい授業をすることができるようにしていく。

国語科の研究1年目となる令和4年度は、令和3年度の研究主題「わかった！なるほど！を味わえる授業～数学的表現を使って伝え合おう～」の課題を基に主題を設定した。児童の課題としては、文意を読み取ることが苦手（算数の文章問題）、要約する力が弱い（要旨）が児童の実態から分かった。そこで、令和4年度からは国語科という教科の特性を生かして、まずは教材を通して「自分の考えや思いをもつ」。そのために「文章を正しく読む」ことに重点を置いて教師の授業改善に取り組んでいる。令和5年度は、国語科のアスレチック的な授業展開を意識して授業を行っている。子供たちが楽しみ、意欲的に学習活動をする学習のゴールを教師が設定する。そのゴールに向かって活動していくと、自然と学習指導要領に定められている学習内容を身に付けているという授業内容を目指している。

研究の方法は、年4回の研究授業と講師の先生による指導・講評、年度初めの講師の先生による講演会を行っている。研究授業の本時のみを教師が参観するのではなく、本時に至るまでの過程（授業日）を全教員に周知する取り組みを行っている。そのようにしたことで、より研究授業を参観する際の視点が多くなっている。

以上のような内容を通して、教師の授業改善を校内全体で考え、瑞江小学校の児童が「できた！わかった！楽しい！」と思うことのできる授業を行っていく。

<<令和5年度 研究構想図>>



<< 「正しく読む」ことを達成するための構想図 >>

